

## 随意契約等見直し計画

平成 22 年 4 月  
独立行政法人大学評価・学位授与機構

### 1. 随意契約等の見直し計画

#### (1) 随意契約の見直し

平成 20 年度において、締結した随意契約等について点検・見直しを行い、以下のとおり、新たな随意契約等の見直し計画を策定する。

今後、本計画に基づき、真にやむを得ないものを除き、可能なものから、速やかに一般競争入札等に移行することとした。

	平成20年度実績		見直し後	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
競争性のある契約	( 39.1%) 43	( 77.0%) 318,670	( 53.6%) 59	( 88.9%) 367,773
競争入札	( 35.5%) 39	( 71.4%) 295,724	( 55.0%) 55	( 83.3%) 344,827
企画競争、公募等	( 3.6%) 4	( 5.5%) 22,946	( 3.6%) 4	( 5.5%) 22,946
競争性のない随意契約	( 60.9%) 67	( 23.0%) 95,227	( 46.4%) 51	( 11.1%) 46,123
合 計	( 100%) 110	( 100%) 413,897	( 100%) 110	( 100%) 413,896

(注 1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの。

(注 2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。

(注 3) 競争入札では『見直し後には、「平成 20 年度限りのもの」18 件は含まれない。』

(注 4) 競争性のない随意契約の件数のうち、公共料金等（電気、電気通信役務等）の契約については月ごとに 1 件（年間 12 件）と数えている。

#### (2) 一者応札・一者応募の見直し

平成 20 年度において、競争性のある契約のうち一者応札・一者応募となった契約について点検・見直しを行い、以下のとおり、契約の条件、契約手続き等を見直す必要があるものが見受けられた。

今後の調達については、競争性のない随意契約の削減に加え、こ

れら結果に留意、改善しつつ、契約手続きを進めることにより、一層の競争性の確保に努める。

(平成20年度実績)

実績	件数	金額(千円)
競争性のある契約	43	318,670
うち一者応札・一者応募	( 58.1%) 25	( 64.1%) 204,237

(注) 上段 ( ) は競争性のある契約に対する割合を示す。

(一者応札・一者応募案件の見直し状況)

見直し方法等	件数	金額(千円)
契約方式を変更せず、条件等の見直しを実施(注1)	( 0%) 0	( 0%) 0
仕様書の変更	0	0
参加条件の変更	0	0
公告期間の見直し	0	0
その他	0	0
契約方式の見直し	( 0%) 0	( 0%) 0
その他の見直し	( 0%) 0	( 0%) 0
点検の結果、指摘事項がなかったもの	( 100%) 25	( 100%) 204,237

(注1) 内訳については、重複して見直しの可能性があるため一致しない場合がある。

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。

(注3) 上段 ( ) は平成20年度の一者応札・一者応募となった案件に対する割合を示す。

(注4) 「平成20年度限りのもの」11件を含む。

## 2. 随意契約等見直し計画の達成へ向けた具体的取り組み

### (1) 契約監視委員会等による定期的な契約の点検の実施

契約監視委員会等により、競争性のない随意契約、一者応札・一者応募になった案件を中心に点検を実施。

(2) 随意契約等の見直し

総合評価方式の導入拡大

情報システム、公共工事の設計業務等に加え、研究開発、調査研究、広報業務等について、総合評価落札方式による一般競争入札を導入するべく、総合評価方式のマニュアルを策定。

(3) 一者応札・一者応募の見直し

- ① 文部科学省政府調達ホームページの調達情報を相互にリンクして情報提供に努める。
- ② 複数者から応札されるように以下の取組を実施する。
  - ア 業務内容（仕様書）に関して、新規に参入する者にもわかりやすいよう、簡潔・明瞭な記述となるように特に配慮する。
  - イ 応札者が入札の準備期間を十分に取れるよう、公告期間を出来る限り長く設定する。
  - ウ 個々の業務内容を勘案し、契約締結から業務開始までは可能な限り準備期間を多く取れるような日程を設定する。